



### 「夏休み」

我が家の長男は小学校3年生、次男は1歳5ヵ月です。(H27.8月現在)

私の小学生の頃の夏休みといえば、ラジオ体操、帰省、宿題と言った思い出があります。毎朝ラジオ体操に行き、夏休みの半分からいを田舎(岡山県倉敷市)で過ごし、夏休み終わり間近になって山盛りの宿題に泣いていました。

ですが、今どきの小学生は違うんです。ラジオ体操は夏休みが始まって平日の5日間のみ。参加すれば毎回お菓子がもらえます。地域によって違うかも知れませんが。

私も夫婦は共働きなので平日は長男は学童保育に行っています。ですから長期の帰省は出来なくて、毎年3-4日程度八ヶ岳に避暑旅行に行っています。以前は山の中で過ごすことで虫探しをしたり、山歩きをしたり楽しんでいましたが、いまはテレビがないことで不満を漏らし、外に出るよりもゲームで遊びたいんです。これも成長なのでしょうか？

夏休みといえば山盛りの宿題ですが、この宿題を親が採点し、間違っているところは直して教えて、夏休みが終わる時には復習が完璧と…。3年生の宿題ならまだ教えることが出来ますが、学年が上がると私の学力にも不安が…。私も長男と一緒に夏休みの宿題に取り組んでいます。

自由研究と読書感想文はどうするんだろうか…。



ひげの生活相談員 カツノタカナル

### 心強い助っ人「しゃふく会」ご紹介

学生ボランティアの「しゃふく会」とは、20年以上のお付き合いになります。毎月、駒場苑に元気を届けてくれ、行事では無くてはならないパワーとして大活躍してくれています。



### 学生さんからひとこと

私たち『しゃふく会』は、明治大学と共立女子大学の学生で構成されています。基本的に月に一回駒場苑を訪れ、ボランティアという形で施設の清掃のお手伝いをしたり、利用者の皆様とレクリエーションを行ったりしています。また、夏は「さんさん祭り」、秋は「敬老会」や「バザー」など季節の行事にも参加させていただいております。

利用者さんと過ごす時間は、私たちにとって普段の学生生活では経験できない貴重な時間です。私たちは、駒場苑を訪問することで利用者の皆様と社会・地域とのつながりを大切にしたい、そしてなにより利用者の皆様の笑顔が見たいという思いで活動を続けております。また通常の活動で利用者の皆様とお話することや、季節の行事で利用者の皆様の普段とは違った一面を見たりすることで、私たちもとても元気をもらっています。月に一度駒場苑で活動させていただくことは、私たち大学生にとって成長や発見の素晴らしい機会であり、とても感謝しています。 中澤早紀

### 夢の箱の使い道

駒場苑ではご利用者に喜んで頂ける「夢」の為に使いますというコンセプトで『夢の箱』という募金箱を置かせて頂いています。約一年間で4万円以上の募金を頂きました。そのお金で、シャワーチェア・クッション・壁面用風景シートを購入致しました。ご利用者に安全かつ楽しく入浴して頂きたいという思いから選びました。露天風呂気分を味わっていただけるかな？



### 駒場さんさん祭り

平成27年7月25日開催されました。今年も大賑わいで楽しい一日でした。



寿会さんによる東京音頭

綿菓子なんて久しぶり!

家族会のご協力で美味しい焼きそばやフランクフルトが出来ました



### 愛隣会バザーのお知らせ

平成27年10月31日(土) 10:00~14:00  
バザーが開催されます。お買い得品がいっぱいです。皆様のお越しをお待ちしています。献品もよろしくお願ひします。

